



## 第4章 計画の推進にあたって

## 第4章 計画の推進にあたって

### 1 点検・評価

#### (1) 考え方

計画の進行管理については、利用者の視点に立ち、計画全体の成果(アウトカム)に対して評価をすることが大切です。PDCAサイクルとして、具体的取り組みのアウトプットに加え、取り組みを束ねた 17 施策の進捗状況(アウトカム)について毎年度に点検・評価を行い、公表していきます。

なお、社会情勢や市民ニーズの変化、国における新たな制度改正に的確かつ柔軟に対応しながら、適宜計画の見直しを行っていきます。

#### (2) 市民参加・子ども参加

計画の進行管理については、市長の附属機関である社会福祉審議会 児童福祉専門分科会に報告し、毎年点検・評価を行い、課題の改善と施策のさらなる推進に反映していきます。

また、当事者である子育て世帯はもとより、子どもからの意見を尊重・反映しながら、子どもに関わる施策の点検・評価を行っていきます。

### 2 連携のしくみ

#### (1) 庁内体制

子ども・子育て支援施策の進捗には、保健・医療・福祉・教育・労働・市民活動・生涯学習・まちづくりなど、幅広い分野にわたる施策を総合的に推進していくリーダーシップが必要となります。「少子化対策推進本部」による全庁的な体制のもとに、計画の推進を図ります。

#### (2) 連携のしくみ

「八王子ビジョン 2022」では、第 3 編「生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち」の実現にむけて、子ども・子育て支援と教育を一体的に取り組むものとして位置づけており、「子ども×教育連携会議」を設置し、施策の連携を進めています。

他分野との連携会議の設置や、一体となって取り組む施策については、共同で点検・評価を行うなど、連携に向けたしくみづくりを行っていきます。

#### 【子ども・子育て支援と教育で一体となって取り組む施策】

基本方針	基本施策	具体的な施策
1 次代を担う子どもの育成	3 乳幼児期の教育・保育の質の向上	9 保・幼・小連携の推進
	4 子どもの健やかな育ちを支える環境の充実	10 放課後の健やかな育ちを支える活動場所の充実
2 家庭の子育て力を支えるしくみづくり	10 子育て力向上への支援の充実	31 家庭教育への支援の充実

### (3) 公立施設の役割・機能について

この計画を効果的に推進するために、次の視点により、公立施設の果たす役割・機能を強化し、本市の子ども・子育て支援の充実に取り組んでいきます。

#### ア 地域における中核的役割の強化

地域における子ども・子育て支援の一層の充実に図るため、公立施設がその中核的な役割を果たしていきます。

教育・保育施設や子育てひろばの質の向上、保・幼・小連携の推進などの取り組みについて、本市独自のガイドラインを策定するとともに、情報の収集・提供、地域のコーディネートなどにより地域の中核的役割を担い、子ども・子育て支援を推進していきます。

#### イ 地域をつなげ、参画を促すための連携の推進

地域社会全体で子育てを支えていくため、公立施設のこれまでの取り組みを活かしながら、地域における多様な立場の者の交流と参画を進めていきます。

子育て支援施設などが拠点の役割を果たし、行政がコーディネーターとして、民間の教育・保育施設や地域の小・中学校・高等学校、大学・企業・市民との交流を支援し、一層地域の連携を推進していきます。

この連携を通じて、市民が子育てにおいて必要とする行政以外のサービスや情報の効果的な情報提供に努めていきます。

#### ウ 要保護児童・要支援児童に対する支援の充実

民間の子育て支援施設や関係機関との連携を図りながら、要保護・要支援児童に対するセーフティネットの中心としての役割を果たすとともに、養育上の様々な困難を抱える家庭への支援を充実していきます。

